

第4回普賢寺小学校コミュニティ・スクール推進委員会 会議録

1 開会

2 公開に係る説明

【事務局から説明】

3 議題

(1) 平成 25 年度普賢寺小学校 学校評価について

【事務局から説明】

【主な意見等】

委員長 アンケートを記名式にしているので良いことしか記入できない、
という保護者の声が聞かれる。

委 員 学校が行うアンケートは基本記名としている。記入内容によつ
ては早期に対応しなければならない場合もある。
記名・無記名にかかわらずさまざまな意見を伝えてほしい。
今後学校として検討する。

(2) 平成 25 年度コミュニティ・スクール推進委員会協議内容について

【事務局から説明】

【主な意見等】

委 員 地域全体が関心を持てるようになることが大切である。
まだまだ関心は持ってもらえていない。

委員長 地域全体の意識を高めていくことが大切。
行政の協力もお願いしたい。

(3) 平成 26 年度コミュニティ・スクール推進委員会の進め方について

【事務局から説明】

【主な意見等】

委員長 今年度は（学校運営協議会の）組織を作っていかなければならない。

いろいろな年代の人に協力していただきたい。

委員 「コミュニティ・スクールだより」の配布は、地域への発信の第一歩であった。

学校運営協議会には、既存の団体や老人会、若い人など、幅広く入ってもらうのも良い。

委員 とにかく（コミュニティ・スクールを）知ってもらわないといけない。多くの人を巻き込んだり、地元 6 地区で何ができるのかを考えたり、公的な場での広報も必要である。

委員 幼稚園には普賢寺小学校に子どもを行かせたいと思っている保護者もいるので、説明会をするというのも良いのではないか。

委員 特認校制度で（子どもが）入学する保護者の中には、コミュニティ・スクールの取り組みに魅力を感じていた人もおり、今後に期待したい。

委員 コミュニティ・スクールは専門用語であり、まだまだ知られていない。言葉 자체を伝える工夫が必要。

委員 ホームページや学校だよりなどで今後も PR を。

委員 学校だよりの紙面は工夫されており、見やすい。

ホームページは「見ようと思って見る人」「見ようと思わなくて見る人」があり、何気なく見ることもできる。

委員長 普賢寺小学校は市全域が校区なので、広く知ってもらうことが必要。

委 員 地元住民はどういった学校を望んでいるのかを知ることも大切では。

委員長 地域の特色を大事にしながら、うまく学力向上と組み合わせていけば良いが。

委 員 地域や学校に特色があるけれども、子どもたちはそれを特色と思っているのかどうか。普段していることを学校でもしているだけなのかも知れない。

熟達者である社会人講師の技を見ながら学ぶ環境は学校としての特色だと思う。

少人数だから体験できることはたくさんある。

委 員 集団教育を行うため、一定の人数も必要だと考えている。

委 員 欧州では 20 人程度が良いと言われている。

例えば OECD の学習到達度調査でトップのフィンランドは、少ない人数の中でコミュニケーションをしながら学習を進めており、日本とは反対に応用力が高い。

普賢寺小学校は体験やエキスパートが多い、ネットワークが構築されているなどといった環境の中でリーダー性も育つので、良い方向に進んでいるのではないか。

(4) その他

【事務局から次年度の推進委員について説明】

【事務局から次回の開催日程を連絡】